

## 一つ 一つ 一歩 一歩

令和3年度のスタートにあたり、思わず浮かんできた言葉が上記のタイトルです。私のこれまでの人生でもものすごく困ったとき、苦しいとき浮かんできた言葉です。自分自身に言い聞かせる言葉です。「一つ 一つ、一歩 一歩」取り組み始めると、いつの間にか、「明るく」なってくるのでした。

令和2年度は一年を通して「コロナ WITH」でしたが、本年度は、ワクチン接種が始まったことにより、また、感染防止対策がそれなりに習慣化されたことにより、今現在は、昨年度中止としたいくつかの園行事も行えるようになればと願っています。一つ一つ、行えるようになればと願っています。一歩一歩、前へ進めればと願っています。

年度当初にあたり、「子育て」を皆様と一緒に進めていくうえで、参考になるものを、ご存じの方も多くいらっしゃると思いますが、ご存じでない方もいらっしゃると思われまので、また、改めて読んでみることで子育てがよりよくなるのではと思われるので紹介させていただきます。

### 【アメリカインディアンの教え】

批判ばかり受けて育った子は、非難ばかりします  
 敵意に満ちた中で育った子は、誰とでも戦います  
 ひやかしを受けて育った子は、はにかみやになります  
 ねたみを受けて育った子は、いつも悪いことをしているような気を持ちます  
 心が寛大な中で育った子は、がまん強くなります  
 励ましを受けて育った子は、自信を持ちます  
 ほめられる中で育った子は、いつも感謝することを知ります  
 公明正大な中で育った子は、正義感を持ちます  
 思いやりのある中で育った子は、信頼を持ちます  
 人にほめられる中で育った子は、自分を大切にします  
 仲間の愛の中で育った子は、世界に愛を見つけます

私がこの「教え」に出会ったのは、わが子が小学校の低学年の頃だったと思います。初めて読んだときは、「う～ん」でした。「無理でしょ!」とも思いました。でも、「もっともだな」とも思いました。そして思ったのでした。「これを100%できる親は、まず、いないのでは?」でも、これを、肝に銘じておくと、肝に銘じないよりは子育てがうまくいくよな」と。そして今は、大人になったわが子にも、幼稚園の子どもたちにも、「できるだけ批判しないようにしましょう! できるだけほめるようにしましょう!」と。

実は、今号で紹介するのは上の「教え」だけの予定だったのですが、これまた子育てに役立つ言葉がありましたので、紹介します。

一、乳児はしっかり、肌を離すな。  
 一、幼児は肌を離せ、手を離すな  
 一、少年は手を離せ、目を離すな  
 一、青年は目を離せ、心を離すな

私がこの「言葉」に出会ったのは、50代前半のときでした。幼稚園児の保護者の皆様、道路を歩くとき、渡るとき、駐車場で、しっかりお子様の手をつないで、離さないでください。「命の綱」です。

さらにありましたので紹介します。

三つ心 六つ躰 九つ言葉 十二文(章) 十五理で 未決まる  
 しっかり抱いて 下に降ろして 歩かせる  
 三つ子の魂百までも  
 可愛くば 二つ叱りて 三つほめ 五つ教えて良き人にせ

▼三つ心(みつつこころ)…三歳までは愛情深く子どもに接し、人に対する信頼感を植え付け、心の大切さを理解させる。▼六つ躰(むつつしつけ)…六歳ま

で、日常生活のしぐさ・作法の基本を身につけさせるために何度も何度も出来るまで繰り返し行う。▼▼九つ言葉(このつことば)…九歳までに、どんな人にも失礼にならないあいさつや、他人への口の利き方を教える。▼十二文(じゅうにふみ)…十二歳までに、文字を自在にあやつり、きちんと中身が伝えられる文章を書けるようにする。▼十五理(じゅうごことわり)…「十五理」とは、経済、物理、科学などの森羅万象の自然の原理を暗記でなく実感として理解できるようになること。

令和3年度の本園の教育方針は次のとおりです。

## 『いつも楽しい』保育をしよう

### ～コロナに負けない～

#### <こども第一主義（こどもの笑顔を最優先）>

- 1 こどもたちひとりひとりを徹底してかわいがり、そのこどもの育ちをよく理解する
  - ・ こどもたちの健やかな育ちのために毎日楽しい保育を提供する  
（コロナ禍だからこそ、こどもたちの心に残る保育をしよう）
  - ・ 年齢に応じた「あそび」が中心の楽しい保育の提供
  - ・ 「躰の三原則」と立腰の継続
    - 挨拶「おはようございます」
    - 名前を呼ばれたら「ハイ」と返事する
    - 履物を揃える、立ったら椅子を中に入れる
    - 立腰（正しい姿勢を身に付ける）
- 2 こどもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる
  - ・ コロナ禍でもできる多様な体験を用意しよう
  - ・ 日本の良き伝統を伝える
    - 日本古来の行事について、保育者自身がよく理解し、折に触れこどもに伝える
    - 日本古来の行事について、毎月園だよりにて保護者に知らせる
- 3 こどもにも保護者にも安心・安全な環境を整える
  - ・ 新型コロナウイルス対応（手洗い、うがい、マスク着用、3密を避ける等）は、常に意識し、保育をする
    - おもちゃ、遊具など備品の消毒
    - 教室の清掃、整理、整頓
    - 遊具のメンテナンス
  - ・ 自然災害（地震、台風等）の発生に備える
    - 避難訓練の実施

#### <幼児期の終わりまでに（卒園する時に）育ってほしい10の姿（共有事項）>

- 1 健康な心と体
- 2 自立心
- 3 協同性
- 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 5 社会生活との関わり
- 6 思考力の芽生え
- 7 自然との関わり・生命尊重
- 8 数量・図形、文字等への関心・感覚
- 9 言葉による伝え合い
- 10 豊かな感性と表現

